

第 133 回薬事エキスパート研修会 医療経済評価の導入に係る課題と対策 —費用対効果評価の是非と製薬企業の対応—

主 催 後 援	一般財団法人 医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団 日本製薬団体連合会 日本製薬工業協会 社団法人東京医薬品工業協会 大阪医薬品協会 日本 OTC 医薬品協会 日本ジェネリック製薬協会	米国研究製薬工業協会(PhRMA) 欧州製薬団体連合会(EFPIA Japan) 日本 CRO 協会 社団法人日本医薬品卸業連合会 財団法人ヒューマンサイエンス振興財団 公益財団法人 MR 認定センター
------------	---	--

欧米では、医療技術評価（HTA）特に医療経済評価の中で費用対効果評価の検討が承認申請および償還に大きな影響を及ぼしています。我が国においても、費用対効果を巡る議論が中央社会保険医療協議会（中医協）あるいはアカデミアの世界で飛び交っています。しかし、本来の HTA としては、限られた医療資源を効率的に活用し、医療の質と患者サービスの向上を図る手法として、患者さんの健康改善をもたらしているか、また、医療現場における利用として、診療・治療の選択を支援する情報となっているか、等、まだまだ議論途上の課題も多い現状です。

そこで、まずは医療経済評価を理解することから、欧米の利活用の現状と今後の課題および対策へ向けて具体的な方法、評価法等の知識を深めることが大切と考え、以下の企画により研修会を開催することとしました。

つきましては、本研修会の趣旨にご賛同いただき、多数の皆様にご参加いただきますようご案内申し上げます。

【日時及び場所】

日 時	場 所
平成 25 年 2 月 28 日(木) 13:00～17:00	日本薬学会 長井記念ホール 東京都渋谷区渋谷 2-12-15 Tel. 03-3406-3326 地図は財団ホームページをご覧ください

【申込要領】

1. 申込方法

＝オンライン＝

受講希望の方は財団ホームページより申込手続きを行ってください。

- ①ホームページ (<http://www.pmrj.jp>) 研修事業内「開催一覧」の研修会毎にある【申込】ボタンより、画面の案内に従って必要事項をご入力ください。
- ②申込完了後、受付番号及び入金方法をメールにてお知らせいたしますので、受講料をお振込みください。
- ③受講料お振込みを確認した時点で、参加登録が完了いたします。入金確認メールをお送りいたしますので、研修会当日には**入金確認メール(受講票)**を印刷し、ご持参ください。

2. 受講料(消費税込)：要旨集代を含みます。

- ・法人会員 1名につき 10,000 円
(法人会員は1口につき4名が会員扱い)
- ・個人会員／非会員 1名につき 15,000 円
- ・行政/アカデミア/医療機関/学生 1名につき 3,000 円

なお受講者の方は、以下の書籍および DVD を特別価格でご購入頂けます。ご希望の方は、申込手続き時に、案内に従ってご購入ください。

- 知っておきたい薬害の知識 1,700 円
- 知っておきたい薬害の教訓 2,300 円
- 温故知新 ～薬害から学ぶ～(DVD)
 - ①総集編 4,500 円
 - ②スモン事件 4,500 円

3. 注意事項

- 振込依頼書のご依頼欄には、必ず**受付番号と受講者氏名(カタカナ)**をご記入ください。お申込み後に返信メールが届かない場合にはご連絡ください。
- 参加申込後 1 週間以内にお振込みください。
- オンラインでの参加申込は研修会開催日の 10 日前までとなります。それ以降のお申込みはお電話でお問い合わせください。
- 事前に申込み、受講料をお振込みの上、ご参加ください。原則として、電話、FAX.での受付及び当日受付はいたしませんのでご了承ください。
- 現金送金はご遠慮願います。
- 受講料受領後の払い戻しはいたしませんので、予めご了承ください。
- お振込みの控えをもって領収書に代えさせていただきます。
- 当日、許可された方以外の撮影及び録音はご遠慮願います。

問い合わせ先

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 2-12-15

一般財団法人
医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団
薬事エキスパート研修担当
電話 03-3400-5644

第 133 回薬事エキスパート研修会
医療経済評価の導入に係る課題と対策
－費用対効果評価の是非と製薬企業の対応－

平成 25 年 2 月 28 日(木) 日本薬学会 長井記念ホール
(受付開始予定 12:00)

13:00～13:05 開会挨拶

寺尾 允男
(医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団会長)

13:05～13:15 医療経済評価－はじめに－

土井 脩
(医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団理事長)

13:15～14:00 医療技術評価(HTA)と医療経済評価－国際的潮流と我が国への導入可能性－

福田 敬
(国立保健医療科学院研究情報支援研究センター
上席主任研究官)

14:00～14:10 休 憩

14:10～14:30 医療経済評価の方法論－ガイドラインを中心に－

五十嵐 中
(東京大学大学院薬学系研究科特任助教)

14:30～14:50 医療経済評価の技法－モデリングと感度分析－

小林 慎
(クレコンリサーチ&コンサルティング株式会社取締役、
医療アセスメント研究部長)

14:50～15:00 休 憩

15:00～15:20 医療経済評価における QALY について

白岩 健
(国立保健医療科学院研究情報支援研究センター)

15:20～15:50 医療経済評価の我が国への導入－厚生労働省の立場から－

宇都宮 啓
(厚生労働省保険局医療課長)

15:50～16:00 休 憩

16:00～17:00 総合討論

共同司会：武藤 正樹(国際医療福祉大学大学院教授)
野口 隆志(昭和大学薬学部臨床薬学教室客員教授)

(演題、講師、時間等一部変更する場合がありますので、予めご了承下さい。)
一般財団法人医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団(略称 レギュラトリーサイエンス財団)
<http://www.pmri.jp>